

令和7年度
伊豆市議会 ～みんなで語る会～

報告書

5/29
6/4

木・水



土肥支所 4階 第1・2集会室
生きいきプラザ 1階会議室

10/6

月



生きいきプラザ 2階会議室

10/15
10/22

水・水



土肥支所 4階 第1・2集会室
生きいきプラザ 1階会議室

R8
1/22

木



伊豆総合高等学校 会議室

令和7年5月～令和8年1月

伊豆市議会

令和7年度 伊豆市議会 議会報告会実施報告

1 開催日・参加対象者・人数

- | | | | | |
|---|-----------|------|---------------|-------|
| ① | 5月29日(木) | 19時～ | 一般参加者(土肥地区) | 13人 |
| ② | 6月4日(水) | 19時～ | 一般参加者 | 21人 |
| ③ | 10月6日(月) | 19時～ | 伊豆中学校PTA保護者 | 10人 |
| ④ | 10月15日(水) | 19時～ | 土肥小中一貫校PTA保護者 | 8人 |
| ⑤ | 10月22日(水) | 19時～ | 市内小学校PTA保護者 | 10人 |
| ⑥ | 1月22日(木) | 16時～ | 伊豆総合高等学校生徒 | 7人 |
| | | | | 計 69人 |

2 会場

- ① 土肥支所4階 第1・2集会室
- ② 生きいきプラザ1階 第1・2会議室
- ③ 生きいきプラザ2階 第3・4会議室
- ④ 土肥支所4階 第1・2集会室
- ⑤ 生きいきプラザ1階 第1・2会議室
- ⑥ 伊豆総合高等学校1階 会議室

3 開催方法

伊豆市議会報告会実施要綱(資料参照)による。

4 主催委員会・主催委員

- ①・② 全議員(2班構成)
- ②～⑥ 伊豆市議会報告会実行委員会 6人(④のみ 小長谷 順二 参加)
委員長 飯田 大、副委員長 青木 靖、尾垣 和則、浅田 藤二、小川 多美子
波多野 靖明、オブザーバー 下山 祥二 議長

5 プログラム概要

- (1) 開会
- (2) 議長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 日程説明
- (5) 伊豆市の令和7年度予算概要について(説明)
- (6) 伊豆市の人口減少について(説明)
- (7) ワークショップ
- (8) グループの意見発表
- (9) お礼の言葉
- (10) 閉会

6 資料

- ① 人口減少と少子化の中で伊豆市の未来を考える！（P27 パワーポイント資料）
- ③ 議会報告会実施報告書・開催写真（①～⑥）
- ④ 5.29、6.4 参加者アンケート集計結果
- ⑤ PTA 参加者一覧
- ⑥ PTA 参加者アンケート一覧
- ⑦ 伊豆総合高校参加生徒名簿
- ⑧ 伊豆市議会報告会実施要綱
- ⑨ 開催回覧チラシ・議会だより 84号 11頁
- ⑩ 静岡新聞、伊豆日日新聞 記事

人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える！

伊豆市議会 ～みんなで語る会～

本日の進行予定

- 1. 開会
- 2. 議長あいさつ
- 3. 自己紹介
- 4. 日程説明
- 5. 伊豆市の令和7年度予算概要について
- 6. 伊豆市の人口減少について
- 7. ワークショップ（みんなで話あってみよう）
- 8. グループの意見発表
- 7. お礼の言葉
- 8. 閉会

令和7年度 当初予算の概要



1 予算の規模

全会計

(単位：百万円、%)

区分	R7当初	R6当初	増減	伸率
一般会計	21,562	24,408	▲2,846	▲11.7
特別会計	8,266	8,327	▲61	▲0.7
企業会計	2,533	2,977	▲444	▲14.9
合計	32,361	35,712	▲3,351	▲9.4

一般会計予算額は、
新市建設計画期間の終了に伴い大幅減

1-1 歳入の特徴(一般会計)

(単位: 百万円)

区分	R7当初 A	R6当初 B	増減 A-B
自主財源			
市税	4,237	4,105	+132
寄附金	1,515	1,511	+4
繰入金	1,927	2,218	▲291
その他	1,175	1,258	▲83
依存財源			
地方交付税	6,064	5,817	+247
国庫支出金	2,428	2,874	▲446
県支出金	1,196	1,126	+70
市債	1,609	4,235	▲2,626
交付金等	1,411	1,264	+147
合計	21,562	24,408	▲2,846

- 【市税】 + 1億3,200万円**
個人所得や企業収益の回復見込による個人・法人市民税の増
- 【繰入金】 ▲2億9,100万円**
リサイクルセンター整備事業の完了に伴う環境衛生施設整備基金繰入金の減
- 【地方交付税】 + 2億4,700万円**
国の地方財政対策による普通交付税の増
- 【国庫支出金】 ▲4億4,600万円**
伊豆中学校整備事業や新リサイクルセンター整備事業の完了に伴う減
- 【市債】 ▲26億2,600万円**
伊豆中学校整備事業や新リサイクルセンター整備事業、中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業の完了に伴う減

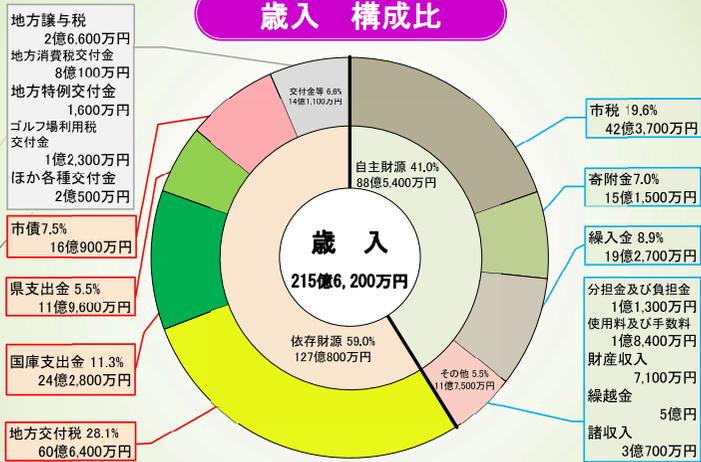
1-2 歳出の特徴(一般会計)

(単位: 百万円)

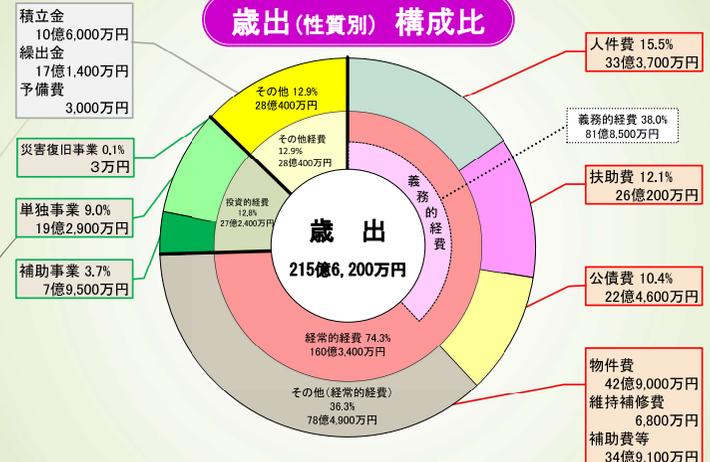
区分	R7当初 A	R6当初 B	増減 A-B
経常的経費			
人件費	3,337	3,200	+137
扶助費	2,602	2,488	+114
公債費	2,246	1,972	+274
その他(経常的経費)	7,849	7,391	+458
投資的経費			
補助事業	795	3,958	▲3,163
単独事業	1,928	2,574	▲646
災害復旧費	1	1	0
その他	2,804	2,824	▲20
合計	21,562	24,408	▲2,846

- 【人件費】 + 1億3,700万円**
人事院勧告に伴う給与改定や地域手当支給による増
- 【公債費】 + 2億7,400万円**
令和3年度実施事業(広域処理施設整備事業、公的病院移転新築補助事業等)の財源とした市債の元金償還の開始に伴う増
- 【その他(経常的経費)】 + 4億5,800万円**
＜物件費＞自治体システム標準化に係る委託料やGIGAスクール端末更新費用の増
＜補助費等＞施設の解体に伴う伊豆市沼津市衛生施設組合負担金の増
- 【投資的経費】 ▲38億900万円**
＜補助事業＞伊豆中学校整備事業やリサイクルセンター整備事業の完了による減
＜単独事業＞中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業の完了による減

歳入 構成比



歳出(性質別) 構成比



2 重点事業

人口や出生数が減少している伊豆市の現状を踏まえ、今住んでいる若者世代がいつまでもここに住み、暮らしてもらうための支援をしていくとともに、命を守る取り組みを進め、次の10年に向けた持続可能なまちを目指す。

いずぐらしプロジェクト

- 出会い・婚活支援事業 480万円**
民間婚活事業者と連携して1年以内の成婚を目指す「1年成婚事業」を推進
- 移住定住促進事業 7,164万円**
移住定住促進補助金の対象を見直し、若者世帯に特化するともに、市内若者世帯の定住促進に向けて増築・リフォームを対象としたメニューを創設
- 放課後児童クラブ拡充事業 959万円**
旧修善寺中学校給食棟を活用し、修善寺南小学区の待機児童を解消
- 中学生バス乗り放題事業 6,344万円**
中学生の通学の利便性の向上をはじめとして、市内生徒間の交流や合同部活動の支援、市内の周遊を促進するため市内バスのフリーバスを配布

いのちを守るプロジェクト

- ひなた公園整備事業 4億1,319万円**
日向地区に防災機能を兼ね備えた公園を整備(R8年度中供用開始予定)
- 危機管理センター整備事業 8億7,159万円**
ひなた公園内に市の災害対策拠点となる危機管理センターを整備(R7年度完成予定)
- 津波避難防災訓練事業 550万円**
上肥地区において観光客等を対象としたリアルな観光防災訓練を実施
- 災害廃棄物仮置場対応訓練事業 162万円**
大規模災害の際に各家庭から搬出される災害廃棄物に対応するための訓練を実施

いつまでも住み続けたい伊豆市へ

重点目標 1 少子化対策と次代を担う人材の育成

結婚から子育てまで切れ目ない支援

- 【**拡充**】**出会い・婚活支援事業 480万円**
・【拡充】婚活イベントを開催するとともに、1年成婚を目指し専任のコンシェルジュによるサポートを実施する結婚相談所への入会及び活動を支援
・「ふじのくに出会いサポートセンター」に入会する市民に対し、年会費の一部を補助



【新規】子育て施設環境整備事業 3,400万円

- ・子ども子育て支援事業債を活用し、子ども園等の空調整備や遊具更新、防災対策工事を実施

教育の充実

【新規】中伊豆小学校移転事業 2億2,930万円

- ・統合により廃校となった中伊豆中学校の跡地を活用し、中伊豆小学校を移転建替するため、実施設計や旧中学校校舎の解体を実施(令和10年度開校予定)

【拡充】GIGAスクール推進事業 2億3,350万円

- ・一人一台端末の更新、中学生向けプログラミング教室、生成AI入門教室等の開催
・【新規】小中学校、小中一貫校への短焦点プロジェクトの導入 など

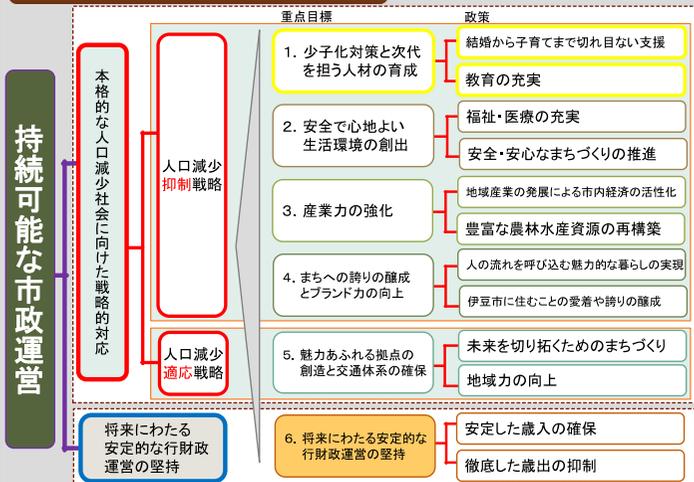
【拡充】学びの探究向上事業 826万円

- ・小中学生向けプログラミング教室、子ども園・児童待合所ICT学習支援の開催
・【新規】東京大学と協定による連携や交流事業の実施 など



▲ 新中伊豆小学校 完成イメージ

第2次総合計画の体系



重点目標 2 安全で心地よい生活環境の創出

福祉・医療の充実

2025年デフリンピック事業 324万円

- ・サイクルスポーツセンターでの東京2025デフリンピック自転車競技(ロード、MTB)開催に向けて、手話講座や100日前イベント、児童生徒の観戦等を実施

時間外小児医療確保補助金 755万円

- ・早朝や夜間に診療を実施した市内小児科医療機関に対し、補助金を交付



▲ロードの練習を行う選手

安全・安心なまちづくりの推進

ひなた公園整備事業 4億1,319万円(再掲)

- ・令和8年度中全体供用開始予定



▲建設中の「危機管理センター」

危機管理センター整備事業 8億7,159万円(再掲)

- ・令和7年度完成、令和8年度供用開始予定



▲「ひなた公園」完成イメージ

重点目標3 産業力の強化

地域産業の発展による市内経済の活性化

観光推進基本計画策定事業 864万円

・市民一体となった観光まちづくりと観光事業の推進に向けた財政計画を伴う中長期的な戦略である観光推進基本計画を策定、併せて計画推進に向けた財源確保について、法定外目的税等の導入を含め検討

ふるさと観光地魅力度事業 6,130万円

・市内観光地の魅力向上のため、ふるさと納税を活用し、修善寺温泉地区の源氏公園改修工事を実施するとともに、湯ヶ島地区の湯道整備に向けた測量設計を実施



▲源氏公園 完成イメージ

豊富な農林水産資源の再構築

【拡充】森林環境譲与税活用事業 6,950万円

・【拡充】地元産材を使用した住宅等への補助要件を、より活用しやすく見直し
・本郷学習児童や市内小中学生に森林環境教育を実施
・新生児への市産材記念プレートの配布、二十歳を祝う会での記念品配布など

【拡充】地域おこし協力隊推進事業 1億3,204万円

・地域の活性化や産業振興を図るため、地域おこし協力隊制度を活用
・【拡充】地域産業振興や農林業に関わる新たな隊員を採用



▲森林環境税活用事業ロゴマーク

重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

未来を切り拓くためのまちづくり

修善寺駅周辺まちづくり検討事業 500万円

・主要地方道伊東修善寺線の修善寺駅前区間道路改良に合わせて、駅周辺のまちづくりを検討

修善寺温泉地区まちづくり検討事業 500万円

・地域の意見を元に令和6年度に作成された将来ビジョン(素案)について、推進体制などを検討



地域力の向上

地域交通推進事業 1億3,380万円

・生活路線のうちバス事業者不採算路線として撤退路線の運行を維持するため、バス事業者に対し補助金を交付
・高齢者割引乗車証(いきいきバス)の購入補助



【新規】中学生バス乗り放題事業 6,344万円

・通学や学校間交流など交通環境向上のため、中学生に市内乗り放題となるエリア定期券(フリーバス)を配布

重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現

【拡充】移住定住促進事業 7,164万円

・【拡充】更なる子育て世帯の移住定住を促進するため、移住定住促進補助金を見直し、増築リフォームを対象に加えるなど拡充
・お試し住宅の運営
・空き家バンクへの登録に対する補助など各種補助金を交付



▲Izu you Connectorとの交流会

【新規】ビレッジプライド研修事業 560万円

・自分の働く場所・生活する地域に誇りを持ち、チーム力でしなやかに課題を解決する力を持つ人材の育成を図るため、スーパー公務員によるビレッジプライド研修を実施

伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成

【新規】おかえりH.Uプロジェクト事業 51万円

・地域愛の醸成やUターン者のきっかけづくりとして、首都圏に居住勤務する伊豆市出身の若者を対象として、交流会を開催



▲学校給食に地元栽培米を活用

学校給食地元栽培米活用事業 331万円

・学校給食に提供する米飯に年間を通して地元栽培米を活用

重点目標6 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

安定した歳入の確保

ふるさと納税促進事業 7億4,383万円

・ふるさと納税寄付額の更なる増加を図るため、ノウハウを有する民間事業者に外部委託し、返礼品の新規開拓やウェブサイト上の返礼品プロモーションを強化

収納対策強化事業 871万円

・外部研修への参加などにより滞納整理対策チームの収納対策スキルを向上



徹底した歳出の抑制

旧八岳小学校解体改修事業 1億3,550万円

・旧八岳小学校校舎の一部を改修し、地域の活動拠点や避難施設として活用するとともに、未利用箇所について解体(令和7年度完成予定)



▲解体改修工事を実施する旧八岳小学校

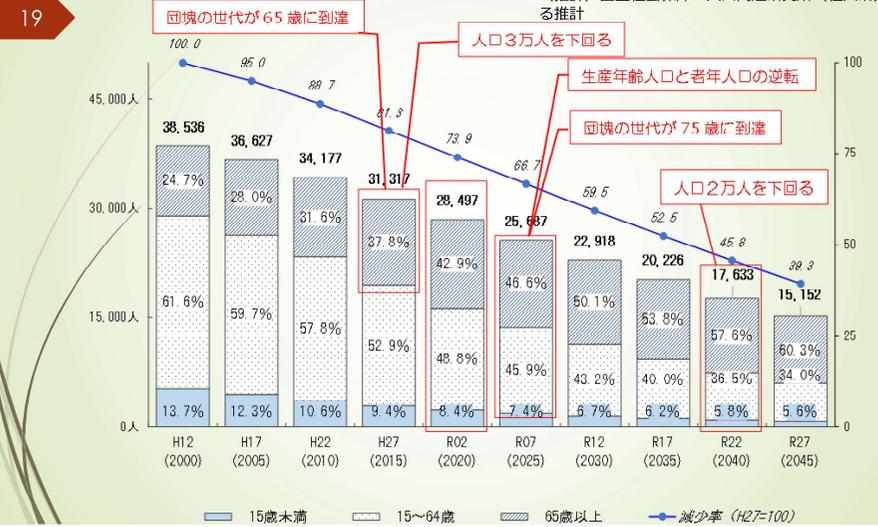
【拡充】基幹システム標準化事業 3億2,402万円

・国が定める20の基幹業務について、令和7年度中に標準化システムへ移行

人口減少状況

について

資料：（実績）国勢調査（各年10月1日時点）
（推計）国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による推計



人口減少？

自然減

社会減

目標人口

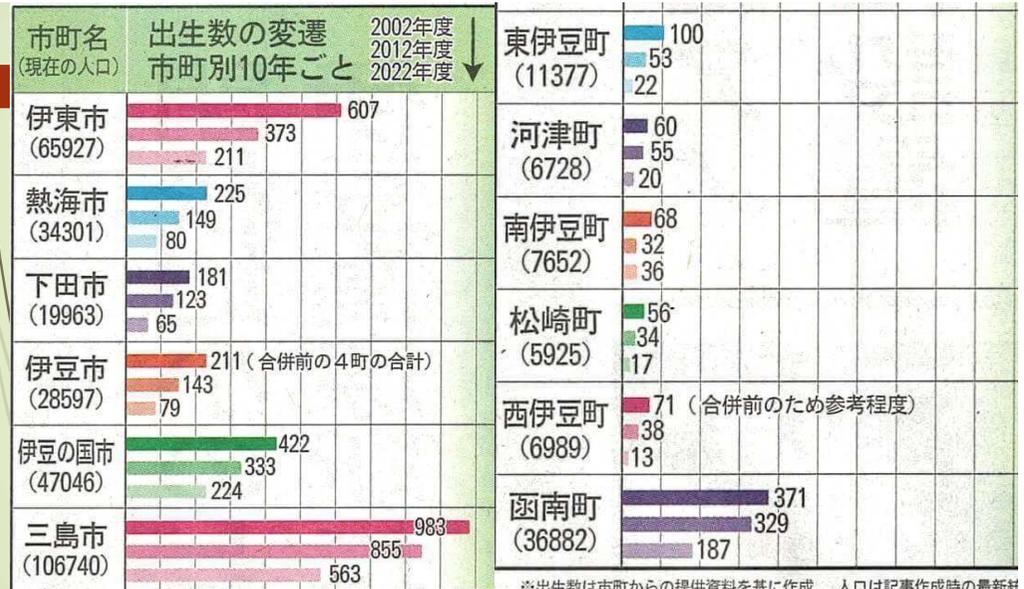
2040年 15年後 23,000人

2045年 20年後 21,000人

伊豆市の高齢化率

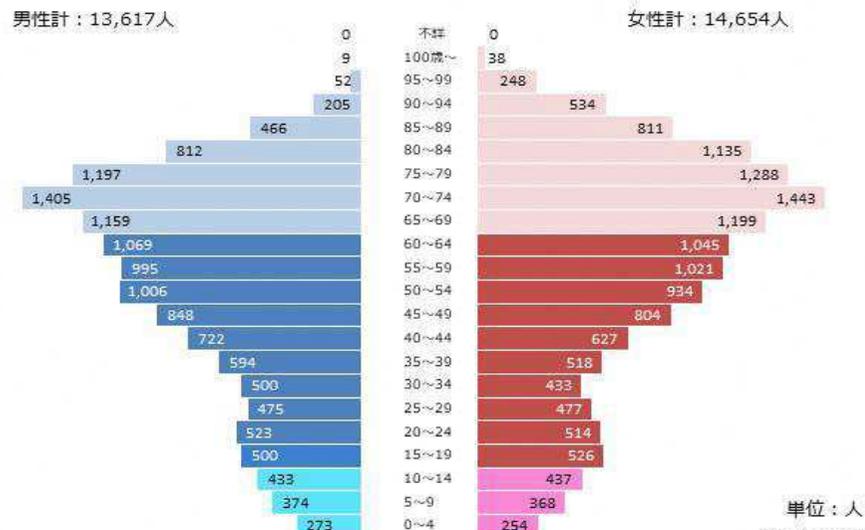
令和6年4月1日現在の詳細

地区	人口	65歳以上	高齢化率
修善寺	13,314	5,248	39.42%
土肥	3,094	1,592	51.45%
天城湯ヶ島	5,113	2,285	44.69%
中伊豆	6,491	2,840	43.75%
伊豆市	28,012	11,965	42.71%



※出生数は市町からの提供資料を基に作成 人口は記事作成時の最新材

伊豆市の2024年1月1日の人口構成 (住民基本台帳ベース, 総人口)



24

社会増

人の移動

仕事・住まい

入学・就職・結婚・出産・新居・子育て

いずぐらしプロジェクト

- **出会い・婚活支援事業 480万円**
 - 民間婚活事業者と連携して1年以内の成婚を目指す「1年成婚事業」を推進
- **移住定住促進事業 7,164万円**
 - 移住定住促進補助金の対象を見直し、若者世帯に特化するとともに、市内若者世帯の定住促進に向けて増築・リフォームを対象としたメニューを創設
- **放課後児童クラブ拡充事業 958万円**
 - 旧修善寺中学校給食棟を活用し、修善寺南小学区の待機児童を解消
- **中学生バス乗り放題事業 6,344万円**
 - 中学生の通学の利便性の向上をはじめとして、市内生徒間の交流や合同部活動の支援、市内の周遊を促進するため市内バスのフリーパスを配布

伊豆市の人口減少と少子化の中で

伊豆市の未来について

考えてみましょう

約450万円/人の支援
出生から、保育、医療費等の支援は県内トップクラス

みんなで育ててみんなで育つ
市内のパパ、ママが子育て情報を共有
みんなが子育てを楽しんでいます

顔の見える伴走型支援
顔の見える関係は伊豆市ならでは。市の保健師は、ママのお悩みに寄り添ってサポート。子どもたちの成長を見守っています

子どもが主役
笑顔でのびのびと育つことができます。子どもの声を積極的に聞いて、まちまちで子育ての楽しさを見えています

新中学校誕生!!
生徒の将来を見据え、「確かな生きる力を育てるため」
「特色ある学びが広がる」「健全な心育が育まれる」
そんな3年間の学校を目指します

すべてが自然学校
海・山・川の自然を主とした「ふるさと学校」「森のようちえん」
「森林環境教育」を通じて学び、個性豊かな伊豆っ子に

子育て全力宣言
伊豆市

伊豆市でのくらしや子育てに関する詳しい
ご案内は「いずぐらし」のHPをご覧ください

(別記様式)

議会報告会実施報告書

報告書作成 木村 建一

実施日	令和7年5月29日(木)	開催時間	午後7時00分～午後8時10分	
実施場所	土肥支所4階 第1・2会議室			
出席議員	飯田 大	波多野 靖明	間野 みどり	小長谷 順二
	尾垣 和則	鈴木 優治	木村 建一	
	小川 多美子	青木 靖	浅田 藤二	三田 忠男
	黒須 淳美	森 良雄	下山 祥二	
報告内容	「人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える!!」 ① 伊豆市の令和7年度予算概要について ② 伊豆市の人口減少について プレゼンテーションのデータによる。 参加者によるワークショップ (A・B 班に分かれ実施) ワークショップの意見発表			
質問内容	プレゼンテーションに対する質問 無し			
参加者意見	<p>A班意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・ふるさと納税の増えている現状説明を・高価格帯の宿泊施設が多い・子育て支援について宣伝を十分にされた方がよい⇒出たい気持ちがあるのに参観日に出られない・子育て支援は充実していると思う・起業をする⇒行政のファミサポの制度は good、行政の手伝い(応援してほしい)・休みの制度を(国の問題ではあるが)・空き家対策をすべき・大切なことは移住の応援をしてほしい・外国人の移住はあり?・郷土愛のあり方・リモートで仕事は成立する・Eスポーツの充実(伊豆総合高校土肥分校) <p>B班意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・移住、定住、結婚に予算を多くかけてほしい(結婚したら100万円とか)・今いる市民が表に向かって発信が大事(それには市民が満足していないといけない)・海、山があることが魅力だったが、今はショッピングモールなどや大きな施設で遊ぶところが欲しい			

	<ul style="list-style-type: none"> ・交通便、雇用対策に力を入れてほしい（働き場所がない） ・移住してしまうことを食い止めなければ ・伊豆で生まれて育って都会に出ると戻ってこないという問題がある ・瀬戸内でベネッセコーポレーションが魅力ある画期的なことをしている（ベネッセアートサイト直島のことなのか？） ・店がなくノート1冊も買えない…小売店が極めて少ない、マックスバリュくらい ・移動販売車を増やして ・タクシーが少ない ・雇用先を探すのには限界がある（公募しても来ない） ・土肥（伊豆市）で事業するにしてもリスクが大きい（人手、人口減少が要因） ・土肥の旅館、ホテル等の施設で地元の人を活用 ・子育て世代の切なる希望…雨の日の集学校の部屋の利用とか ・伊豆（土肥）が好きで他地域に出た人の意見を聞いてみたらどうか ・土肥分校の下宿生の受入れに際し、支援を強く望む
備考欄	参加人数：13人



(別記様式)

議会報告会実施報告書

報告書作成 森 良雄

実施日	令和7年6月4日(水)	開催時間	午後7時00分～午後8時10分	
実施場所	生きいきプラザ1階 第1・2会議室			
出席議員	小川 多美子	青木 靖	浅田 藤二	三田 忠男
	黒須 淳美	森 良雄	下山 祥二	
	飯田 大	波多野 靖明	間野 みどり	小長谷 順二
	尾垣 和則	鈴木 優治	木村 建一	
報告内容	「人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える!!」 ① 伊豆市の令和7年度予算概要について ② 伊豆市の人口減少について プレゼンテーションのデータによる。 参加者によるワークショップ(A・B・C班に分かれ実施) ワークショップの意見発表			
質問内容	プレゼンテーションに対する質問 無し			
参加者意見	A班意見等 ・地域おこし協力隊の定住の少なさの原因は。定住につなげるには← 出会いの場を ・東京から帰る働く場所を ・小学校や中学校の維持 ・イベントへの協力←協議会のあり方(意識改革) ・子育て→大学まで手厚く ・情報発信…興味がわくものがない(伊豆市で大きくなりすぎた) ・道路がよくなると人が出ていく ・観光だけで働く場が確保できるのか→企業誘致=安定収入 ・子育て環境の変化、出会いの場や出産場所がない ・観光ビジョンがない ・旅館、ホテルと地域との連携(異業種との連携、土肥との連携) ・土肥の海の減収穫 ・外国人の雇用(ミャンマーが優秀) ・時代の変化に順応できる行政 ・牧之郷の人口増→人付き合いの希薄 B班意見等 ・他市町にないわかりやすいキャッチフレーズを ・住みたくなるまちづくりを ・子供を預かる場所が必要 ・SNSの発信が弱い ・子供の教育(学校を中心とした)まちづくりを			

	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少→日本全体の問題 ・農地を守る ・空き家物件が多い ・介護なら日本一を ・出産費用を無料に ・教育に力を入れて ・みんなで語る会は土曜日の午前中がベスト（託児所ありで） ・農業政策に取り組んでほしい ・天城、中伊豆中の跡地を介護施設にどうか ・農業者と地域づくり協議会の連携で地域の活性化を（トラクター、軽トラのシェア） <p>C班意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長泉とは差がないとの事だがだいぶ子育てについて差はある ・企業を育てていないのでは？→根本原因か（働く場所の確保） ・移住者を求めてもいかがか ・伊豆中学校の位置づけ ・子供たちがリターンできる要素が有りか無しか ・伊豆市の魅力を発信してみるの …環境の良さ、自然の豊かさ、 ・伊豆市に海外移住者も含めて ・地元のイベントが不足だ…にぎわい作り ・小学校の再編はあるべき
備 考 欄	参加人数：21人





(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	令和7年10月6日(月)	開催時間	午後7時00分～午後8時10分	
実施場所	生きいきプラザ 第3・4会議室			
出席議員	飯田 大	青木 靖	尾垣 和則	波多野 靖明
	浅田 藤二	小川 多美子	間野 みどり	下山 祥二
報告内容	「人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える!!」 ① 伊豆市の令和7年度予算概要について ② 伊豆市の人口減少について プレゼンテーションのデータによる。 参加者によるワークショップ ワークショップの意見発表			
質問内容	プレゼンテーションに対する質問 無し			
参加者意見	<u>新中学校に対する意見等</u> ○新中学校は ・どこの中学というわけではなく、親が不安視していたほどではない。 ○バス問題 ・朝の通学 7:30～8:30(開門)の間に学校に入らなければならないか。 ・開校時、小学生と重なり、バスが満杯。次のバスを待つが、乗車できないことあり。 ・習い事はバスをあまり利用しない。(タイミングが合わない)…親の送迎や自転車になる。 ・観光客からクレームをもらうこと有。(マナー等。すべての子供の問題ではないが) ・バス停までの距離があるため苦労している←どうする? ○通学路 ・修善寺天城の間の越路トンネルの中が細いので歩道整備してほしい。安全対策が必要。 ・安全点検プログラム(現在小学校にて)などを検討してほしい。 ○校歌、校章、新規部活など ・作成プロセスを明確にしてほしい。(例:デザイン、学校外観等) ○その他 ・習い事をするにしても市内でできる環境を作ってほしい (塾とかが市外になる…菰山、三島、伊東等に行っている) ・部活について…学校では16:30一斉下校のため時間が短い。週3回のものもあ			

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎…廊下が長すぎる（長所、短所あり）、声がよく響く。 <p>人口減少について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊豆市内で義務教育を受けるメリットの発信をしたらどうか …移住者に対しても子育て支援制度も充実しているが、発信が下手 ・「全力宣言」と言っても冷たい…聞いてもすぐに教えてくれない。後でありますとか聞く (言われたことしかできないのは問題だ) ・伊豆市の良さをもっと知るべき（都会と田舎の共存等） ・結果を出すためのプロセスが大切。これに例えばマスコミ等も来る。（創業支援等も） ・制度とルールに挟まれたゾーン ・全力宣言の恩恵は受けていない人が「良いよ」ということが大事
備 考 欄	参加人数：10人



(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	令和7年10月15日(水)	開催時間	午後7時00分～午後8時10分	
実施場所	土肥支所4階集会室			
出席議員	飯田 大	波多野 靖明	浅田 藤二	小川 多美子
	間野 みどり	下山 祥二	小長谷 順二	
報告内容	「人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える!!」 ① 伊豆市の令和7年度予算概要について ② 伊豆市の人口減少について プレゼンテーションのデータによる。 参加者によるワークショップ ワークショップの意見発表			
質問内容	プレゼンテーションに対する質問 無し			
参加者意見	○子供の医療費補助 ・負担減につながり助かる ○少子化対策 ・少ないなりに対策が出来ている ・移住者が鍵となる…アピールが大切 ○出産 ・市内には桃太郎助産院がある ○医療 ・日赤の受付が1時間半しかないので土肥から行くのが難しい (受付時間を長くしてほしい) ○空き家 ・行政で新築して貸し出すなど市営住宅の工夫 ○交通(通学) ・バスの減便で帰りのバスがなくなったことにより不安につながった ○移住 ・活躍の場を作り地元の受入れを ・土肥は素敵な場所…海に沈む夕陽、帰りたいと思える場所 ○子育て環境 ・子供たちは土肥が好き ○不安なこと ・老いた時の移動手段 ○仕事ができる場所			

	<ul style="list-style-type: none"> ・工場などが出来れば移住につながる <p>○他と違うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい環境 ・習い事、スポーツ助成金など…他と違う何かを見つけよう ・暮らし良さ ・土肥の素晴らしさを確認してみる ・治安の良さ <p>○福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービスは利用が難しい ・療育…遊ぶ場所が欲しい <p style="padding-left: 40px;">9年間同じ学校で顔見知り、つながりがある</p> <p>○順天堂行きのバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出口からは直通だが、そこまでの乗り換えが大変
備考欄	参加人数：8人



(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	令和7年10月22日(水)	開催時間	午後7時00分～午後8時10分	
実施場所	生きいきプラザ 第1・2会議室			
出席議員	飯田 大	青木 靖	尾垣 和則	波多野 靖明
	浅田 藤二	小川 多美子	間野 みどり	下山 祥二
報告内容	「人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える!!」 ① 伊豆市の令和7年度予算概要について ② 伊豆市の人口減少について プレゼンテーションのデータによる。 参加者によるワークショップ ワークショップの意見発表			
質問内容	プレゼンテーションに対する質問 無し			
参加者意見	<p>P T Aの活動を行っていると思うこと</p> <ul style="list-style-type: none">・共働きが多いので保護者に負担をかけないように学校側が考えてくれている・病院について、小児科の夜間はあるけれども、小児科、皮膚科、耳鼻科が不足している・主治医が見つからないのが問題(大仁、長岡へ行く)・学校の先生が塾を進めるが、塾や習い事をする所が少ない(先生のアドバイスが欲しい)・クラスの人数が少ない(12、3人)なので先生の目は届いているだろうか…先生の負担軽減を・高校になったら交通不便(バスの最終時間を延ばして欲しい)・定期券を使わないで回数券を使うので高校生に対して補助が欲しい・人口減…学校を出たあと遠くへ出た子がどうしたら帰ってくるか(働き場所不足だが、ネットの時代。車での通勤圏も考えよう)・修善寺駅ににぎやかさが無い、わくわく感がない…町の魅力を出す施策を考えてほしい・イベント、祭りがなくなるのが残念。皆で一緒にできるものがあると良い・土肥の花火も良いが近くでもっと盛大に・「市の運動会」などの企画もよいのでは・自然を生かしたもので住みやすさを追求してほしい・伊豆市は第3子の出生が多いとのこと、子育てに良いというアピールをもっと・子育て支援策が充実している…子供が増えると保育士や看護師も必要・P T Aの負担を減らすのが大事			

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事には参加しやすい環境を（人数的に東小、南小のギャップがある） ・修善寺地区の学校再編を考えてほしい（伊豆中が開校したので） （再編に100%はないので色々なパターンを選択するのが良い…意見を出す環境づくりを） ・学校のトイレ（修南小学校）を使いたくない子供たちが苦しんでいる ・小学生時代にいろいろな人間（生徒、友達など）との接点を持てる環境が大事 ・学校合併に伴い母校が無いと子供がぼやく （思い出を残すには、跡地の活用をその子供たちにも聞いてほしい）
備 考 欄	参加人数：10人



(別記様式)

議会報告会実施報告書

報告書作成

実施日	令和8年1月22日(木)	開催時間	午後4時00分～午後5時00分	
実施場所	伊豆総合高等学校			
出席議員	飯田 大	青木 靖	尾垣 和則	浅田 藤二
	小川 多美子	波多野 靖明	下山 祥二	間野 みどり
報告内容	「人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える!!」 ① 伊豆市の令和7年度予算概要について(資料配布のみ省略) ② 伊豆市の人口減少について プレゼンテーションのデータによる。 ファシリテーター(浅田藤二議員)による意見聴取			
質問内容				
参加者意見	【伊豆市のイメージ】 ・自然豊か。田も多い ・交通の便良くない ・歴史、観光をうまく活用したら ・店舗少なく不便 ・コンビニ少ない ・教育面は良い。廃校を有効活用 ・市内のどこの地区は何と聞かれても出てこない ・動物の被害が多い 【楽しいと思うこと…やりがいや充実を感じること】 ・自分のやってきた成果(事)が目に見える(例:横浜ゴムシリンダー解体組立など) ・やりたいことにチャレンジできる(例:声優やりたい) ・人と人との触れ合いをしたい(例:農業など) 【伊豆市に期待すること】 ・若者が知らない良さをもっと全面的に出して ・テレワークがしやすい環境…定住促進事業の中で定住から子育てにつながる			

	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が農業にあこがれるように良さをうまく発信する（イメージも大切） ・ゴミ（道端等の）をなくす…狩野川公園等、年間に何回かボランティアできれいに <p>【伊豆市をこのようにしたらよい…提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少ないので増やしたい（公共交通の充実） ・高校生も無償化 ・遊べる場所を中学生等にも広げる（例：伊豆箱スタンプラリー） ・働く場所の確保とUターンの促進を ・学校を卒業して伊豆市に帰りたと思うには <ul style="list-style-type: none"> ★子育て支援の充実は大事 ★公園を増やすと良い ★畑仕事ができる場所があると良い（非日常体験ができる） <p>【伊豆市長になったらやりたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「熱海」からバスを出す…新幹線駅からのバス <p>【私が伊豆市でやりたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業のボランティア活動（食を守ろう） <p>【自分が社会に出た時の世の中のイメージをどう思う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな分野でどんな仕事に就いているか ・伊豆市に残る産業（観光等）を増やしていく…しかし、働く人がいない ・仕事…給料より楽しさややりがいがある方が良い ・働く場所が豊富にある街より楽しいことがある街が良い <p><u>『楽しいことがある街に住んで働きに出る』</u> ←伊豆市より三島等がよくなる</p>
備 考 欄	参加人数：7人（生徒）





議会報告会 アンケート集計結果

R7.5.29
R7.6.4

(アンケート回収 8件)

Q1 性別・年代

性別	男性	4	女性	2	未回答	2		
年代	30代	1	40代	3	50代	60代	70代~	4

Q2 伊豆市の期待する事業、希望する政策、欠けている政策等

- ・伊豆中学校での教育、習いごとを中学でやるなど親の負担軽減
- ・観光ビジョンがない
- ・防災対策
- ・産業振興
- ・人口減少を前提として政策（若い人達の意見を取り入れて対策）
- ・これまでの施策や伊豆市が今置かれている現状・課題についてよく理解できました。その上で、伊豆市はこれからどの食い扶持(何で)で生き残っていくのかを、もっと明確にビジョンを示して欲しいと思います
- ・財政の歳出削減や抑制ももちろん大事なことです。人口が減っていく中で、どう歳入を増やしていくか、前向きな考えを議論していただきたいと思います
- ・農業政策
- ・人口減少対策
 - ①通勤立地の優位性を活かした修善寺駅前、牧之郷駅前の高層住宅開発
 - ②田舎立地を生かした広い土地、床面積でデザイン性の高い住宅を斡旋
 - ③地域間の差別化戦略(例:ペットと暮らしたい、リモートワークで暮らしたい日本一)

Q3 議会報告会「みんなで語る会」でもっと聞きたかったこと、関心のあるテーマ

- ・聞いた意見をもとに議会が何をするか見物です
- ・議員の皆さん、市長の人口減少と少子化に対する具体的な対策
- ・伊豆市の施策で特に静岡県東部の他の自治体と比較して違い、特に良い点などについて

- ・伊豆市の中で特に人口減少が大きな地域の活性化、農業対策、観光対策などの考え
- ・発表でもありましたが、修善寺地区の小中学校統合については、これだけ少子化が急速に進む中、やむを得ない状況だと思います
- ・地域愛はもちろん大事なことです。しかしながら、当事者の親子の意見をもっと真摯に受け止めて、速やかに進めて欲しいと思います
- ・農地の活用法
- ・人口減少対策
- ・新たな観光戦略
- ・リモートワーク環境の改善、創造

Q4 本日の報告（プレゼン）内容について

評価する	5	どちらとも言えない	3	評価しない	その他
------	---	-----------	---	-------	-----

【その他の意見】

- ・評価するが、質問を受ける時間があればよかった

Q5 参加したワークショップ（情報交換）について

評価する	5	どちらとも言えない	1	評価しない	その他	2
------	---	-----------	---	-------	-----	---

【その他の意見】

- ・もう少し具体的なテーマだと話しやすかった
- ・時間が短かった。参加の皆さんも長い時間は大変だが、もう少し話が聞ければよかった
- ・参考になった

Q6 議会報告会「みんなで語る会」に参加してのご意見・ご感想

- ・ワークショップの形でみんなで話し合うので、事前にアナウンスして参加者が考えをまとめておくことができれば実りある会になったのではないか
- ・若い世代の方の考えを聴くことが出来て参考になった
- ・議員の方からの具体的な考え、施策等を伺って、参加者の意見を聴くことも良いのでは
- ・短い時間のワークショップでしたが、参加者の皆さんの意見が聞けた貴重な時間でした
- ・世代間で考え方の違いがわかって、それぞれで色々な考えがあることがわかった時間で

した

- ・もっと多くの方が参加してもらいたい
- ・話を書くだけでなく、ディスカッションを進めてほしい

Q7 その他、市議会についてのご意見・ご要望

- ・見える化を進めてほしい
- ・様々な地域、世代の方から話を聞いてよかった
- ・議員の皆さんの悩み、課題なども伺えればより良いのではないかと
- ・多くの市民の皆さんの意見、考えを聴くことが出来れば、より良いアイデアが出てくるのではないのでしょうか
- ・時間がなかったため、発言は控えましたが、新中学校に息子が通い始めましたが、正直、一年生ですし、前の中学校との比較はできませんが、まだ2ヶ月たらずですので、よかったどうかは分かりません。
- ・設備は整った環境ですし、先生方もとても若く明るいと思います
- ・半年・一年ずつ中学校の現状と課題をヒヤリングしていくことが大事だと思います。ぜひ、引き続き宜しく願いいたします。

令和7年度 議会報告会（PTA出席依頼数・参加者）一覧

開催日	学校名	依頼数	参加数	1 参加者	2 参加者	3 参加者	4 参加者	5 参加者	6 参加者	出席議員	
10月22日	1	修善寺南小学校	3	2	森 裕介	佐藤 弘美	-				
	2	修善寺小学校	2	2	宮崎 理沙	清井 順子					
	3	修善寺東小学校	2	2	山田 絵里子	須田 典子					
	4	熊坂小学校	2	1	波多野 治						
	5	天城小学校	2	2	勝俣 治	森嶋 恵					
	6	中伊豆小学校	2	1	宮下 幸次	-					
		小 計	13	10							実行委員 6 人 正副議長 2 人
10月6日	7	伊豆中学校	10	7	高橋 篤 森 大瀬	渡邊 一夫	丸山 善康	佐藤 真知子	長岡 宏	山口 美保	実行委員 6 人 正副議長 2 人
10月15日	8	土肥小中一貫校	6	12	植松 誉 芹澤 美樹	山口 正代史	浅川 環	新藤 知紗	森島 愛子	杉山 武臣	実行委員 6 人 正副議長 2 人 小長谷
3日	8校	合 計	29	29						事務局 2人	

※ 会場 10/ 6 (月) [伊豆中] 生きいきプラザ 2階 第3・4会議室
 10/15 (水) [土肥小中一貫] 土肥支所 4階 第1・2集会室
 10/22 (水) [小学校] 生きいきプラザ 1階 第1・2会議室

※ 開始時間 3会場共 午後7時から開会

伊豆中学校、市内小学校、土肥小中一貫校PTA参加者アンケート結果

番号	回答日	性別	年代	伊豆市に期待する事業、希望する政策、欠けている政策等	議会報告会「みんなで語る会」でもっと聞きたかったこと、関心のあるテーマ	情報交換会の評価				その他、行政・議会に対して、ご意見・ご要望等
						報告（プレゼン）の内容	ワークショップ（情報交換会）	感想	（その他：□の場合のみ）	
1	10月6日	男性	40代	・効果的な移住情報発信 ・高い専門性が必要な部署には、専門知識を持つ異動しない職員を配置して欲しい	「親世代の生活幸福度を養うには」 親が幸福度高くないと子に対しても幸福度を上げることはできないから	○	○	○		伊豆中学校の施設利用ができるよう、準備を進めてほしい
2	10月7日	女性	40代	日本全国、子供の人数は少ないがどうしたら子供が増えるのか？ 結婚しても仕事がないと言って伊豆市に住まない。近くに学校もないから子育て世代は移住してしまうなど、若い世代の人口増加を希望したい。	高齢になっても住みやすい伊豆市にする対策はあるのか？ 免許返納した時の移動手段や買い物サポートなど	○	○	○		今は思い浮かばない
3	10月7日	男性	40代	ベタですが、企業誘致で人口増加および経済の活性化。子育て関連の施策の充実を移住者へアピール。	小学校再編について(修善寺地区) 人口減の対策	△	○	○		
4	10月7日	女性	40代	政策はあっても実行が伴っていない	子の教育について	×	×	△		この会を実施する前に匿名でアンケート調査などをするべき。 子の数が少ない分全員の顔を覚えるくらいの気概で取り組んでほしいです。
5	10月7日	男性	40代	制度のわかりやすい情報発信	人口流失を防ぐ為の対策が実際に機能しているか	○	△	○		

番号	回答日	性別	年代	伊豆市に期待する事業、希望する政策、欠けている政策等	議会報告会「みんなで語る会」でもっと聞きたかったこと、関心のあるテーマ	情報交換会の評価				その他、行政・議会に対して、ご意見・ご要望等
						報告（プレゼン）の内容	ワークショップ（情報交換会）	感想	（その他：□の場合のみ）	
6	10月15日	男性	60代	今より便利になればもっと人が集まるという方向性で市政を決めるのは既に時代遅れな気がします	何が足りない 他所ではこうやっているという話が多くて…未来が無いという暗さが気になりました 過疎化、少子化が進んでいるからこそ こどもたちの間にいじめは無く、学歴社会の弊害から逃れている また横の繋がりがだけで無く、縦の繋がりが生まれている という良さをもっと知っておくべきだと思います	○	○	○		修善寺、中伊豆、天城、土肥という4区域間の交流をもっと盛んにしていく方向性が良いと思います。 こどもたちは学校やスポーツなどで既に多く交流していますが… 大人たちはどうですか？ 議員さんたちはどうですか？
7	10月23日	男性	40代			○	○	○		
8	10月27日	男性	40代	修善寺地区の4小学校の再編です。 修善寺地区の4小学校の再編を進める際、新たな場所での新たな校舎の建設は財政的に困難であり、既存ストックを有効活用することが想定されます。 現在、新中伊豆小学校の建設事業が進められていますが、当該事業終了後、切れ目なく修善寺地区の建設（改築）事業が進められるよう、再編の枠組みを事前に固めてほしいです。 伊豆市の教育委員会と議会は中学校の再編を成し遂げているため、その際のノウハウを活かして本格的に着手してほしいです。 児童や保護者に対する学校教育の観点からだけでなく、学校の維持管理費、人件費などの財政面も踏まえると、残された時間は少ないです。	修善寺地区の4小学校の再編です。 対象4校のPTA役員に絞った意見交換があるとよいです。 PTA役員は高学年の保護者が多く、再編が完了する頃には当該児童は卒業していますが、各学校の状況を把握している当事者による将来を見据えた議論は有益と考えます。	○	○	○		伊豆市は、平成の大合併で誕生した自治体として、合併特例債を活用して真に必要な施設を整備してきましたが、今後は合併特例債が使えない中で小学校再編を先送りしていくと、建設コストも高騰する中で、事業推進がますます困難な状況になります。 代表質問や一般質問で当局との議論を深めつつ、特に修善寺地区の議員の皆様は会派・党派を超えて、地元の合意形成・意見集約の上、再編を迅速かつ丁寧に進めてくださいますようお願い申し上げます。

番号	回答日	性別	年代	伊豆市に期待する事業、希望する政策、欠けている政策等	議会報告会「みんなで語る会」でもっと聞きたかったこと、関心のあるテーマ	情報交換会の評価				その他、行政・議会に対して、ご意見・ご要望等
						報告（プレゼン）の内容	ワークショップ（情報交換会）	感想	（その他：□の場合のみ）	
9	10月27日	女性	50代			○	○	○		
10	10月29日	女性	50代	伊豆中学校の体育祭で、とっこ音頭をやってもらいたいです。伊豆市民ならみんな踊れるような、少し面白いあるあるみたいなものがあったらいいと思う。		△	△	△		

伊豆市議会議員と語る会 参加者名簿

	氏名	読み方	性別	学年	出身中学
1	加藤 海	カトウ ウミ	女	2	多賀中
2	井村 琉瑚	イムラ リュウゴ	男	2	天城中
3	勝又 由津輝	カツマタ ユヅキ	男	2	修善寺中
4	井澤 太樹	イザワ タイキ	男	2	天城中
5	井澤 ひなた	イザワ ヒナタ	女	1	天城中
6	大野 湊太郎	オオノ ソウタロウ	男	1	修善寺中
7	鈴木 洸太	スズキ コウタ	男	1	修善寺中
8	山田 心穂	ヤマダ シオン	男	1	修善寺中

生徒会長

生徒会副会長

生徒会副会長

○伊豆市議会報告会実施要綱

平成28年4月1日
伊豆市議会告示第1号

(趣旨)

第1条 この要綱は、伊豆市議会基本条例（平成28年伊豆市条例第23号）第10条第2項の規定に基づき、伊豆市議会（以下「議会」という。）が実施する議会報告会（以下「報告会」という。）について、必要な事項を定める。

(組織構成)

第2条 報告会は、次の構成のいずれかにより実施する。

- (1) 2班編成による班単位
- (2) 次条の実行委員会の構成員
- (3) その他議長が認める構成員

2 班(前項第1号の班単位をいう。以下同じ。)の構成員は、所属する常任委員会、会派、期別及び年齢等を踏まえて、全員協議会において協議し、決定する。

3 班に代表者を置き、構成員の互選により決定する。

(実行委員会)

第3条 報告会の開催に際しては、実行委員会（以下「委員会」という。）を組織する。

2 委員会の委員は、各常任委員会から3人ずつ選出し、6人で構成する。

3 委員会に委員長1人、副委員長1人を置く。

4 委員会の委員長及び副委員長は、委員の互選により決定する。

5 委員の任期は、1年とする。ただし、委員会の構成を見直す必要が生じた場合は、この限りでない。

(開催方法等)

第4条 報告会の企画は、委員会で協議し、全員協議会において決定する。

2 報告会は、原則として年1回、市内4地区又は市民が構成する団体若しくは委員会が適当と決定したものを対象に開催する。ただし、議長が必要と認める場合は、随時開催することができる。

3 報告会の日時、会場、各班が担当する地区及び対象とする団体等は、委員会で決定する。

4 報告会の開催に際しては、ワークショップ方式など、意見収集の場を設ける。

(報告内容)

第5条 報告内容は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 議会の活動状況
- (2) 予算、決算等の審議状況
- (3) その他必要と認める事項

2 前項の規定にかかわらず、参加予定者が特定される報告会の場合は、意見収集の場として開催することができる。

3 報告会は、参加者に開催の趣旨が分かる名称を冠することができる。

(資料等)

第6条 報告会で配付する資料は、各班共通のものとする。

2 報告会では、政治活動に係る会派及び議員個人のチラシ等は、配付してはならない。
(役割分担)

第7条 報告会の司会進行、報告者及び記録者等の役割分担は、委員会又は各班において協議し、決定する。

2 報告する班に当たらない班は、会場設営、受付及び案内等の職務を行う。

3 質疑応答は、原則として班に所属する議員全員で対応する。

4 班による報告会は、議員全員の参加を原則とする。

(記録及び公表)

第8条 班の代表者又は記録者等は、報告会の記録を取りまとめのうえ、委員長に提出する。

2 委員長は、各班の代表者又は記録者等から提出された報告会の記録を取りまとめのうえ、議会報告会実施報告書(別記様式)を議長に提出する。

3 報告会の概要は、ホームページ及び議会だより等に掲載する方法により公表する。

(検証)

第9条 報告会終了後、速やかに委員会を開催し、実施状況及び意見収集内容の検証を行う。

2 委員会における検証終了後、必要に応じて全員協議会を開催し、議員間で意思の共有を図る。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は委員会に諮り、全員協議会において決定する。

附 則

この告示は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(令和5年伊豆市議会告示第4号)

この告示は、公示の日から施行する。

(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	年 月 日	開催時間	時 分 ~ 時 分
実施場所			
出席議員			
報告内容			
質問内容			
参加者意見			
備考欄			

人口減少と少子化の中で 伊豆市の未来を考える!!

日 時 会 場

5月29日
(木)

午後7時～

**土肥支所 4階
第1・2集会室**

6月4日
(水)

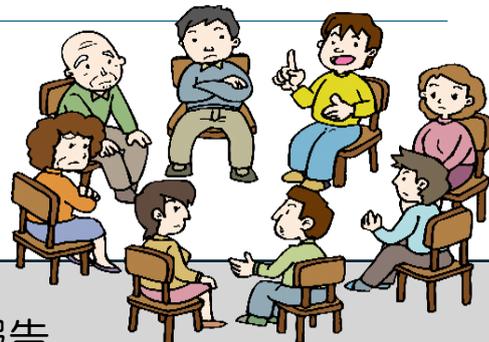
午後7時～

**生きいきプラザ
第1・2会議室**

※ 各回とも同じ報告内容です。

内 容 (1時間程度)

- 1 子育て全力宣言政策と人口減少状況を報告
- 2 「人口減少と少子化の中で伊豆市の未来を考える」をテーマに教育や産業について、議員と参加者で意見交換



どなたでも参加できます。

いずれかの時間、会場にお越しください。

(申し込み不要)

問い合わせ先

伊豆市議会事務局 Tel 0558-72-9906 Fax 0558-72-9907

伊豆市議会

開催
決定!

「みんなで語る会」

人口減少と少子化の中で、伊豆市の未来を考える

5/29 木

19:00 ~ 20:00

会場：土肥支所 4階
第1・2集会室

6/4 水

19:00 ~ 20:00

会場：生きいきプラザ
第1・2会議室

申し込み
不要

内 容 (1時間程度) ※各回とも同じ内容です。

1. 子育て全力宣言政策と、人口減少状況を報告
2. 議員との意見交換

テーマ「人口減少と少子化の中で伊豆市の未来を考える」



どなたでも参加できます。
いずれかの時間、会場に
お越しください。

新 議会モニターのみなさん 1年間よろしくお願ひします!

令和7年2月7日に委嘱状交付式・議会モニター会議を行い、9名(5名は再任)が就任されました。1年間よろしくお願ひいたします。



◀ 議会モニター提出意見はこちら



※委嘱状交付式で撮影

伊豆市議会の活動や市政 報告



意見交換する市民と市議
伊豆市の修善寺生きいきプラザ

議員と市民「語る会」

伊豆市議会はこのほど、議会活動や市政の報告会「みんなで語る会」を同市の修善寺生きいきプラザで開いた。

同市の商工、観光関係者や市職員ら計21人と、全14市議が参加した。市議は2025年度一般会計予算の概要や同市の人口減少などについて説明した。

参加者と市議でグループに分かれ、人口減少と少子化に伴う伊豆市の未来をテーマに意見交換した。参加者は「移住者の受け入れのほか、企業を誘致して雇用を増やした方がいい」「大学生向けに伊豆市での就職口を案内するのはどうか」などと提案した。他にも、観光や農業、子育てに関して要望した。

伊豆市議会

施策充実へ当事者の声

子育て世代、高校生中心に「語る会」



車座で議員と意見を交わす伊豆中PTA＝伊豆市の修善寺生いききプラザ

意見集約 市長に提言

伊豆市議会は、議会報告会「みんなで語る会」を市内各所で開いている。本年度開催する6回のうち4回は子育て世代や高校生を対象に開き、市の子育て施策のさらなる充実へ当事者の声を届ける。6日夜は伊豆中PTAを対象にした「語る会」を修善寺生いききプラザで開き、意見を交わした。

(伊豆日日新聞 秋山裕姫乃)

テーマは「人口減少の未来を考える」で、と少子化の中で伊豆市議員は本年度予算の概

要や人口推計を参加者に説明した。保護者は説明を踏まえ、子育て支援策の満足感や子どもの通学環境などについてさつくばらんに意見を述べた。支援策の周知強化や通学路の危険

た意見は集約した後、年度内に市長に政策提言する。子育て世代や高校生といった、特定の層を対象に語る会を開くのは2年ぶり。対象を限らない従来の開催方法では参加者が固定化していたため、議員からは「リアルな意見を聞けた」などと好評の声が上がった。

今後は市立小PTA、土肥小中一貫校PTA、伊豆総合高生を対象に開く。寄せられる。

語る会は市議会基本条例に基づき、2017年度から行っている。

